

ほのほのだより

～ 親子で楽しむ 絵本の世界 ～

新しい年が始まりましたね。保育園に新しい絵本が届きました。

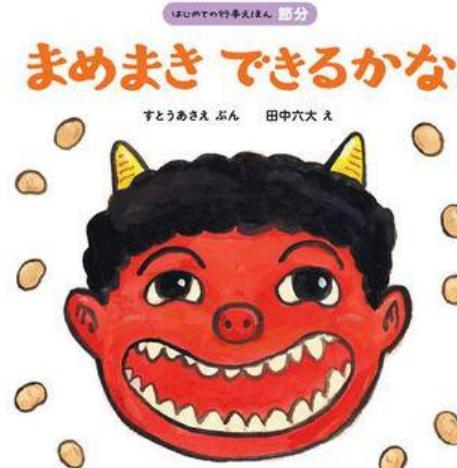
今回紹介する「豆まき」と「おせち」、どちらも季節の行事を身近に感じられる絵本です。子ども達に行事の意味や由来、その思いが伝わる事を願い、読んでいきたいと思います。季節の節目を楽しく迎えるきっかけになるといいです。

「まめまき できるかな」

出版社：ほるぶ出版
作：すとう あさえ
絵：田中 六大

口ちゃんたちが「おにはそと！」と豆をまく様子が、楽しいしかけて描かれています。ページをめくると実際に豆を投げているような動きが楽しめるため、行事の意味を自然に学びながら、小さなお子様も夢中になれる一冊です。

「節分は少し怖い」と感じているお友だちも、この本を通して当日の豆まきを楽しみに待てるように読んでいきたいと思います。



「おせちのみんな あつまって！」

出版社：ひさかたチャイルド
作・絵：真珠 まりこ

「くろまめさーん」「はい！」と、名前を呼ばれたおせち料理たちが元気にお返事をして、重箱の中に次々と集まつてくる可愛らしい物語です。最後には全員が揃って「あけましておめでとう！」とご挨拶をします。巻末には各おせちに込められた願いの解説もあり、日本の伝統行事を親子で楽しく学べます。お正月の食卓がより楽しみになる一冊です。

